

岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第9号

第9号発刊によせて

関西支部長 木内 尚之

関西支部会員の皆様におかれましては、ますますご健勝の事とお喜び申し上げます。日頃から当支部の諸活動や行事にご協力とご支援を頂き心より御礼を申し上げます。関西支部会報9号の発刊に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

日本選手が大活躍し多くの感動を与えた平昌冬季オリンピック・パラリンピックが閉幕し、世界の関心事は、北朝鮮の核放棄に向けての南北会談と米朝対話が成功し、朝鮮半島の核廃絶が達成されるのかということに移っています。先行き不透明な状況ながら、関係国の協力と懸命の努力によって平和な世界に一步でも近づくことを願うものです。

さて、当支部の先期を振り返りますと、第9回定期総会には大学より、村井利昭教授による「岐阜大学から発信する元素化学」の講演を頂き、王^{わん ずがん}志剛副学長より「岐阜大学の現状報告と産学連携推進状況について」の特別講演を頂きました。また、関西支部の行事としましては、安威川ダムの工事と資料館の見学を行いました。恒例になりましたゴルフ交流会や定期的に開催されるようになりました同好会の麻雀大会の実施など一歩一歩、地に着いた行事が行われるようになりました。一方では、活動の柱でありますイノベーションプロジェクトでは、会員の企業（株式会社松田製作所様）の熱意で、岐阜大学との産官学連携活動に一步を踏み出しています。当支部といたしましては、今後も産官学連携活動の成功を目指し、活発な活動を行うと共に定期総会、交流会、同好会活動も盛り上げて行く所存です。会員の皆様方の相も変らぬご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。



ご挨拶

岐阜大学工業倶楽部会長 坪内 繁樹

岐阜大学工業倶楽部関西支部の皆様には、益々のご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。また、この度の第10回関西支部定期総会の開催を心よりお祝い申し上げます。さらに、日頃より当工業倶楽部の活動、事業にご協力とご支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。

今年是全国的に寒い新年となりましたが、皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたことと思います。昨年は、国内では藤井4段（現在6段）棋士の29連勝、森友・加計学園問題、天皇退位法案可決、上野動物園パンダ「シャンシャン」の誕生、「インスタ映え」の流行等、海外では、米大統領就任、北朝鮮の弾道ミサイル発射等々、歴史と記憶に残る出来事が連日報道された1年でした。

今年の世界経済はアメリカ、中国、欧州、日本も含め全世界的に景気がさらに拡大、成長すると予測されていますが、北朝鮮・中東問題等のリスクや英国のEUからの離脱等今までのグローバルに自由な経済から自国ファーストで内向きの世界に変わろうとしており、今後の世界がどのように変化していくか？予測不能な時代になっています。また、日本は急激な少子・高齢化の進展とデフレからの脱却がなかなか進まない中、大幅な賃上げによるデフレ脱却が叫ばれていますが、消費者が買いたいものを常に創造していくことが企業に求められていると思います。しかしながら、日本の強かった「ものづくり」が、一部企業の不祥事によりメイドインジャパンの信頼が揺らいでいることが気がかりです。

そんな中で、岐阜大学は生き残りをかけ「学び、究め、貢献する人材を社会に提供する」という理念に基づき、「2025年の岐阜大学将来ビジョン」が制定され、教育、研究、国際化、社会貢献の各項目に亘り中期目標を設定され、教育・研究だけでなく岐阜の様々な地域、機関、企業と密着した活動もされています。また、このような岐阜大学の活動状況を卒業生の皆さんにもっと知っていただくため、さらに各学部の同窓生との交流をもっと深めることを目的に、一昨年から「岐阜大学同窓会連合会の集い」が年2回開催され、徐々に参加者も増え盛大になってきたと感じています。

このような中で、当工業倶楽部は工学部の同窓会として会員数3万名を超える大きな同窓会組織であり、会員の皆さんの親睦と絆をより深めるために様々な活動をおこなっていますが、母校の岐阜大学・工学部の更なる飛躍に向けて陰ながら支援させていただくとともに他学部の同窓会とも積極的に交流していきたいと考えています。

また、関西支部におかれましては、先進技術の講演会開催、企業の訪問等に加え、近年は岐阜大学との産学連携を図るため「イノベーションP J活動」を重点テーマとしても活発に活動をされており、支部会員の皆さんの交流、親睦により一層絆が深まってきていることに感謝申し上げますとともに、工業倶楽部としても支部会員数の増大に向けて一緒に検討していきたいと考えていますので、今後ともよろしく申し上げます。

最後に、岐阜大学工業倶楽部関西支部の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念するとともに、今後とも当工業倶楽部の活動や事業にご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



岐阜大学工業倶楽部関西支部委員会報告

◇総務委員会◇

総務委員長 大森 和男

第9回定期総会・記念講演・特別講演・懇親会・学科別交流会

2017年6月18日(日)茨木市福祉文化会館(オークシアター)において、来賓に岐阜大学 王 志剛副学長、同学 村井 利昭工学部副学部長、岐阜大学工業倶楽部 坪内 繁樹会長、同部 杉浦 隆専務理事をお招きし、総勢40名で第9回定期総会を開催いたしました。

総会では、報告事項として2016年度事業報告・会計報告・特別会計報告・会計監査報告があり、続いて決議事項として役員任期満了に伴う新役員選出(案)、2017年度事業計画(案)・予算(案)が審議され承認されました。

記念講演では、村井 利昭工学部副学部長により「岐阜大学から発信する元素化学」の演題でグローバルな研究の成果から国際会議での準備から開催に至る話題等の紹介を頂きました。続いて特別講演として、王 志剛副学長より「岐阜大学の現状報告と産学連携推進状況について」の演題で大学の将来ビジョンの骨子である「中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成」を目指すべく活動等について、具体的な事例も交えて紹介がありました。産学連携では、組織を早期に立ち上げ地方大学のトップランナーとして着実に実績を挙げ、確たる位置を築かれました。

懇親会では、恒例となりましたマッキーノゲームによる参加者全員の自己紹介を行い、和気あいあいの中、会員相互の交流を深めることができました。

学科別交流会は、機械系、化学系、土木・繊維・電気・精密系の3つグループに分かれて自己紹介に始まり、産学連携に関する取り組みから技術開発への要望等、有意義な意見交換を図りました。



<イノベーションプロジェクト (IPJ) 活動報告>

昨年6月の定期総会に出席され、関西地区初の岐阜大学工学部のプレゼンに興味を抱かれた東大阪市の企業社長とIPJメンバーが数回面談し、企業が抱えている技術開発テーマ、開発方向等が確認できたので岐阜大学工学部で同じテーマの研究を進めている助教と面談して連携研究開発受け入れ可能との回答を得ました。現在、次のステップへ準備中です。

さらに、当支部役員5名が現在連携推進本部に「産学連携アドバイザー」を申請中でこの4月にも資格が得られる見通しです。「産学連携アドバイザー」資格が得られますので産官学連携の橋渡しが円滑になる体制が整います。今後のIPJ推進にもご協力をお願いいたします。

◇会報編集委員会◇

会報編集委員長 菅村 浩

会報第9号の発行とホームページのメンテナンスと更新を行いました。会報については、昨年からページ数を4ページから8ページに倍増し、「各委員会・同好会の活動状況」、「会員の企業紹介」、「会員の趣味を紹介」など会員相互の情報交換の場としての紙面充実を図りました。

また、ホームページの更新については、出来るだけ早く行事の案内や結果を掲載しました。過去の情報も参照できるようにしています。行事の結果については、写真を多く掲載するようにしました。本部や他の支部とのリンクを充実させました。

これからも関西支部の情報発信をタイムリーに続け会員の更なる増加と会員相互の情報交換が出来るようにホームページの充実を行ってまいります。

◇名簿管理委員会◇

名簿管理委員長 米元 孝博

- ・会員名簿作成（平成30年3月31日）
- ・会員の動静（平成30年3月31日）

会員数 平成29年6月1日	増員 (+)	減員 (-)	現在の会員数 平成30年3月31日	増減
152	1	4	149	▲3

◇行事委員会◇

行事委員長 東郷 茂

安威川ダム見学会

- ・開催日：平成29年10月7日(土) ・参加者：10名
- ・通常、ダムは山奥に造られることが多いのですが、安威川ダムはJR茨木駅(市街地)から僅か6kmしか離れておらず、手軽に行けることから見学会が企画されました。現在は、本体の底部基礎工事の段階のため形が無い状態でしたが、全体を見渡すことができました。本体のコア(中心)から周囲のロック(岩石等)を積み上げていく過程を再度見学したいものです。

(1)場所：大阪府 茨木市大字生保～大門寺

(2)事業主体(発注者)：大阪府 安威川ダム建設事務所

(3)施工者：大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発JV

(4)工期：平成26(2014)年3月～平成32(2020)年7月

(5)概要：安威川ダムは、昭和42(1967)年7月の北摂豪雨により、死傷者61名、浸水家屋約2万5千戸等の被害を受けたことを契機に計画されました。100年に1度の豪雨(80mm/h)により安威川を流れる洪水(毎秒850m³)のうち毎秒690m³を受止め流域被害(浸水家屋約8万戸、被害総額1兆5500億円)を防ぎ、市街地等やインフラを守る淀川水系の治水ダムです。

ダム型式：中央コア型ロックフィルダム

規模：高さ76.5m×長さ337.5m×体積約222万m³(京セラダム大阪約2杯分)



ダム本体工事現場を背景に参加者(10名)の方々



ダム本体の中心部(黄色の櫓)付近の工事状況

第8回ゴルフコンペ（交流会）

- ・開催日：平成 29 年 11 月 28 日（火）・参加者：9 名
- ・場所：ダイヤモンド滋賀ゴルフクラブ

恒例となりました 1964 年工業化学卒の「39 会」様との合同コンペを開催いたしました。当初は 10/24（火）の予定でしたが、台風 21 号の襲来で止む無く延期となりました。当日は、絶好のゴルフ日和に恵まれ、和気あいのプレーで懇親を深めました。



1964 年工業化学卒の「39 会」様との合同コンペ

☆麻雀同好会☆

- ・開催日：平成 30 年 1 月 11 日（木）・参加者：8 名
- ・場所：雀荘「菜の花」（梅田「ミスターりんビル」6 階：曾根崎警察署斜め向かいのビル）

梅田という都会のど真中にもかかわらず朝 10 時から午後 5 時まで雀代がたったの 1,050 円でソフトドリンク飲み放題という安さと禁煙・酒でボケ防止に役立つ健康健全麻雀です。9 階建てビルの半分（5～9 階）が雀荘で、連日フロアの 25 卓が満席という盛況ぶりです。

当日は、同好会メンバー 8 名（2 卓）が集まり、熱戦を繰り広げましたが、写真の通り満席の盛況で、見渡しますと高齢の女性のグループが半分以上とビックリするような光景でした。案内等はホームページ等に掲載いたしますので、参加希望の方は事務局までご連絡下さい。



往年の雀士 8 名の面々

☆支部創立 10 周年記念事業プロジェクトチーム☆

2019 年 4 月に創立 10 周年の節目を迎えるに当たって、次のような実施案を企画しています。

- ・「創立 10 周年記念事業」を 2019 年度の定期総会と兼ねて「関西支部 創立 10 周年記念定期総会」と称して開催します。
- ・期日は 2019（平成 31）年 7 月 14 日（日）、会場は「ホテルポップインアミング」（JR 尼崎駅北側）で開催を計画しています。
- ・関西の特徴である「おもしろ・おかしく」をテーマに岐阜大学出身の落語家の出演（交渉中）「他学部同窓会との交流」、更には時同じくして迎えます「岐阜大学創立 70 周年事業」とも連携を検討しています。
- ・記念誌、記念品の作成も予定しています。

会員の企業紹介



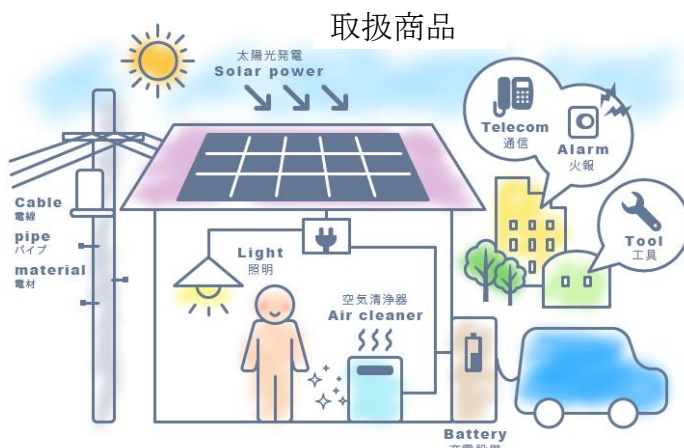
創業以来71年になりますが、電設資材全般の専門商社として、幅広くトータルな事業を展開しています。「“衣・食・住”の『住』を支える」をモットーに、より快適で豊かな生活と明るい将来を目指しています。皆様の取り巻く環境の中で電気・空調・情報設備が、いかに欠かせない存在であるかは言うまでもありません。普段何気なく享受している快適・安全な日常生活は、時代の最先端の資材があって初めて成り立つものです。

商品と人をつなぐ電材卸商として、お得意先・仕入れ先に満足をしていただくために、より質の高い設備資材ステーションの構築を図っています。

いつでも、どこからでも、欲しい情報（モノ・コト）が得られる「ユビキタス社会」のインフラをサポートする会社として100年企業を目指しています。



商品と人をつなぐイベントとして当社と阪神設備電業(株)様の2社で毎年主催しています「ひょうごエレテピア」。今年で32回目を数え、ますます社会・地域・皆様方に貢献して行きたいと考えています。



会社概要

所在地 神戸市中央区琴ノ緒町5-7-20
代表取締役社長 岡田 敏嗣 (1974年電気卒)
事業内容 電設資材機器卸販売
TEL 078-231-5371
ホームページ <http://meika-dengyo.jp>

近畿産業技術クラスター協同組合（略称：KSTC）

中小企業・ベンチャー企業を支援する総合技術コンサルタント集団です。

[I] 私たちはこんな考え方で中小企業を元気にします！

1、超一流の技術

先端技術・ノウハウの提供

組合員は日本を代表する先端企業OBの技術者集団です。これまで先端企業でリーダーとして活躍し、豊富な経験と実績を有する技術者、管理者のエキスパート集団が、あなたの企業をサポートします。

2、クラスター形成

最適メンバーで取り組みます

中小企業・ベンチャー企業の諸問題に、専門家集団より最適なクラスター（チーム制）を形成し、問題解決に全力で取り組みます。

3、納得価格

負担を抑え最大効果を提供

我々組合の設立理念は、社会への貢献です。これまで育てて頂いた社会への恩返しと考え、支援活動費は一般市場の諸費用と比べ、格安なご奉仕価格で支援しております。



[II] 私たちの実績は！

- 1、自主的企業支援コンサルタント事業
平成16年～平成29年
- 2、販路マッチングナビゲート事業
平成16年～平成21年
- 3、川上・川下ネットワーク構築事業
平成22年
- 4、新現役チャレンジ支援事業
平成20年～23年
- 5、戦略的基盤技術高度化支援事業(1)(2)
平成23年～25年、平成26年～28年
- 6、門真市中小企業サポートセンター受託事業(1)(2)
平成24年～26年、平成27年～29年
- 7、平成27年度医工連携事業化推進事業
平成27年
- 8、岐大工関西支部オープンイノベーション事業
平成29年～

組合概要

所在地： 大阪府吹田市朝日町15-24
大田ビル303号室

理事長： 栗野 順二郎（1964年工業化学卒）
常務理事： 平井 佳紀（1964年工業化学卒）

事業内容： 総合技術コンサルタント

TEL： 06-7175-4980

URL： <http://www.kstc.jp>

組合員：総勢32名（技術系：27名 総務系：5名）

私の趣味

阪上 丈一(1974年精密工学科卒)

まだ白黒テレビの時代、メガネを取って胸を開き、空高く飛び上がっていくあの「スーパーマン」を見たとき、全身に電気が走ったのを今でも覚えています。私の趣味・模型飛行機の原点はここににあります。それからいろんなことに手を出しましたが、模型飛行機という趣味はきっと死ぬまで続くと思います。

そこで私の最新作を紹介します。ガソリンエンジン2サイクル単気筒 33cc ガソリンエンジン搭載、ウイングスパン 2200mm 約 1/5 モデルの陸軍 97 式陸上戦闘機のラジコン模型です。主にバルサ組グラスウール張りモノコック構造ですが、随所にカーボンファイバーを使い、軽量化を図っています。軽量化は当時の技術者にとって最優先課題だったと聞いております。また、キャノピーは知人をお願いして、塩ビシートから真空成型をしました。操縦席キャノピーはスライド式。車輪はオレオ式で、多少の衝撃吸収を図っています。近々岡山県の笠岡飛行場にて初飛行を計画しております。友達からは、せっかくここまで作ったのだから、飛ばすな！と言われております。が、最初の胴枠切出しから、丸 4 年、飛ばさないわけにはいきません。正月には、初飛行の成功を大阪の天満宮にお祈りに行ってきました。さて、お祈りが菅原道真公に届くでしょうか？



仏像のご利益

木内 尚之(1969年機械工学卒)

私が仏像彫刻を習い始めて、十数年になります。10年余りイタリア、ドイツなどの単身赴任生活に疲弊して、30年余り勤務した大企業を退職し、大阪に帰り、友人の経営する IT 関連の装置の設計、製作の小さな会社に就職して、父母の墓所のお寺(深敬寺)の住職に薦められて、お寺の金堂での仏像教室の無名塾で習う事になりました。ゴルフ優先の不良塾生を承知して頂いて始めました。木は容易に切れませんが指は簡単に切れます。救急車で運ばれ、5針縫う怪我也しました。作品は兄弟、友人に進呈しています。英国でダンサーのオーストラリアの友人の子息が大阪公演の時に我が家で夕食をした時には、部屋にあった全ての作品を持ち帰ってもらいました。また、私の長男が少し夫婦仲の悪かった時に1尺余の地藏菩薩を彫って、長男に贈り、朝、会社に出る時にお参りして出るように言いました。彼は実行して、今や仲の良い夫婦になり、長男は管理職に昇進しました。友人の会社を退職する時にお礼に‘会社にお金がどんどん入るように’と大黒天を彫って進呈しました。社長室に飾られ、女性社員に手入れされ、その後に会社は借地、借り工場から2倍余の自社土地、自社工場と急発展しています。社長、社員の努力の賜と思いますが、私は‘大黒天のご利益’と自負して、我が家にも‘ご利益を’！と大黒天を彫り、玄関に置いて、出入りの時には‘我が家にもご利益がありますように！’とお願いしています。そのご利益か、不思議と日々の小遣いのお金に不自由しないで、夫婦仲良く生活が送れています。大黒天に謝々です。

下の写真は我が家の’大黒天’と現在、苦戦の彫刻中の地藏菩薩の’光背’です。



当支部会員の“^{あせち}疇地 ^{ひろし}宏”さん（会員 No. 180 電気科 ‘74 年卒 ‘76 年修了）が、同窓会連合会会長表彰を受賞されることになりました。

疇地さんは、岐阜大学工学研究科電気工学専攻を修了後、大阪大学レーザーエネルギー学研究中心（現在：レーザー科学研究所）において40余年の長きに渡りレーザー核融合（*1）の研究・開発一筋に携われ、昨年3月末にセンター長を退任され、現在も同センターで特任教授として後輩の指導にあたられています。特に、我が国最大のレーザーシステム「激光Ⅻ号」の構築に携わり、核融合燃料を固体密度の600倍に圧縮する等、この分野においては、第一人者として世界的にもトップレベルの科学者として活躍されています。

疇地さんがこの研究を始められたのは、岐阜大学で電気工学を学んでいた1973年、第1次オイルショックが起きた時、「学生生活で必須の紙が手に入らなくなり、物価もどんどん上がっていく。これは大変だ、日本は天然資源のない国、エネルギーを研究しなといけない」と思い立ったのが発端だそうです。

今回の受賞は、半生にわたる研究・開発の実績の成果と次の輝かしいご功績が評価されたことによります。

- ・平成27年 米国原子力学会(ANS)「エドワード・テラー賞」
- ・平成27年 米国核融合エネルギー協会「リーダーシップ賞」
- ・平成23年 レーザー学会「進歩賞」

(*1) レーザー核融合とは、太陽の中心部で起きている核融合をレーザー装置を用いて再現する研究です。実用化されれば事実上無尽蔵で偏在しない燃料（水素の仲間）により発電が可能となる等、温暖化ガスや高レベル放射性廃棄物の放出が無い理想のエネルギー源として大いに期待されている技術です。

第10回 定期総会 開催のご案内

- ・日時 平成30年6月10日（日）11時30分～16時30分（予定）
- ・場所 茨木市福祉文化会館（オークシアター）202・303号室
- ・来賓 岐阜大学副学長（産官学連携担当）^{わん ずがん}王 志剛氏
岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 名誉教授 特任教授 六郷 恵哲氏
岐阜大学工業倶楽部会長 坪内 繁樹氏
岐阜大学工業倶楽部 専務理事 内田 裕市氏
- ・記念講演 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 名誉教授 特任教授 六郷 恵哲氏
演題：『地域のインフラメンテナンス分野への岐阜大学の貢献』
ー維持管理技術者養成、インフラミュージアム、ドローンを活用した橋梁点検ー
- ・特別講演 岐阜大学 副学長（産官学連携担当）^{わん ずがん}王 志剛氏
演題：『岐阜大学の現状報告と産学連携進捗状況について』
<多くの方々のご参加をお待ちしています>

<名簿管理委員会から会員の皆様へのお願い>

“入会申込書”で得た会員の個人情報、「会員への情報発信」と「会員相互の連携」を図る重要なツールとして支部活動を円滑に進めるため絶えず生きた情報を整理しておく必要があります。そのため、住所や電話番号などお届け頂いている会員情報に変更が生じた時や、特にメールアドレスの新規取得や変更の際には、お手数ですがすぐに事務局までご連絡をお願いします。今後とも会員の情報管理には万全を期し、支部活動にのみ活用させていただきますので宜しくお願いします。

ご連絡、お問い合わせ：

岐阜大学工業倶楽部関西支部 事務局長 大森和男
〒554-0012 大阪市西区立売1丁目4番9号中井産業ビル4F
Tel：090-3996-3306 Fax：072-738-3369
E-mail: nrh53171@nifty.com
ホームページ: <http://gifudai-kansai.g.dgdg.jp/>

岐阜大学工業倶楽部関西支部
発行人 支部長 木内尚之
編集人 会報編集委員会
委員長 菅村浩
担当 川那邊修 井上和夫 平井佳紀